# 平成20年 事務機械の自主統計品目 出荷実績

[%]

				1	1	ر%)
品	目		金 額	前年比	台 数	前年比
複写機•複合機		国 内	93,822	86.7	256,244	83.9
	モノクロ	海 外	350,213	90.1	2,471,926	98.9
		合 計	444,035	89.4	2,728,170	97.2
	フルカラー	国 内	246,234	105.9	342,858	105.1
		海 外	327,761	99.4	862,045	111.9
		合 計	573,995	102.1	1,204,903	109.9
		国 内	340,056	99.8	599,102	94.8
		海 外	677,974	94.4	3,333,971	101.9
	(百万円、台)	合 計	1,018,030	96.1	3,933,073	100.8
ページプリンタ		国 内	49,164	85.5		
		海 外	301,319	88.7		
	(百万円、台)	合 計	350,483	88.3	18,770,528	89.0
データプロジェクター		国 内	16,704	93.3	144,265	92.8
		海 外	240,553	92.3	3,421,312	112.5
	(百万円、台)	合 計	257,257	92.4	3,565,577	111.6
電卓&電子辞書		国 内	7,261	92.8	6,819	93.1
	電卓	海 外	35,953	91.7	64,645	101.8
		合 計	43,214	91.9	71,464	100.9
	電子辞書	国 内	41,269	89.1	2,502	89.2
		海 外	1,451	70.8	149	89.7
		合 計	42,720	88.3	2,651	89.2
		国 内	48,530	89.6	9,321	91.9
		海 外	37,404	90.7	64,794	101.6
	(百万円、千台)	合 計	85,934	90.1	74,115	100.3
		国 内	59,276	73.4	283,725	82.1
ECR/POS		海 外	27,561	110.7	989,300	103.9
	(百万円、台)	合 計	86,837	82.2	1,273,025	98.1
デジタル印刷機	(百万円、台)	国 内	12,932	98.4	35,172	98.4
電子黒板		国 内	2,653	81.1	26,857	80.7
		海 外	2,747	92.4	35,595	95.5
	(百万円、台)	合 計	5,400	86.5	62,452	88.5
タイムレコーダ		国 内	2,249	86.0	104,454	87.5
		海 外	684	66.0	48,241	74.1
	(百万円、台)	合 計	2,933	80.3	152,695	82.7
シュレッダ	(百万円、台)	国 内	9,603	130.0	380,441	97.4
総合		国 内	541,167	89.7		
	計	海 外	1,288,242	92.7		
	(百万円)	合 計	1,829,409	91.8		

社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会

# 「平成20年事務機械の上半期出荷実績」発表の件

社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会(会長:町田 勝彦/シャープ株式会社代表 取締役会長兼CEO)では、調査統計委員会(委員長:齊藤 潔、富士ゼロックス株式会社常務 執行役員)を設置して、事務機械の各種統計調査を行っています。

このたび、自主統計品目の平成20年出荷実績がまとまりましたので発表致します。

### 1. 平成20年出荷実績(自主統計9品目)

国 内: 5,412億円(前年同期比: 89.7%)

海 外: 12,882億円(前年同期比: 92.7%)

総出荷: 18,294億円(前年同期比: 91.8%)

#### 2. コメント

#### 1)総出荷

平成20年における総出荷金額は、トータルで前年同期比91.8%とマイナスとなった。 品目別でプ見ると、複写機・複合機のフルカラー機(同102.1%)がプラスとなり、他は マイナスとなった。

出荷台数では、プラスとなったのは、複写機・複合機(同100.8%)、データプロジェクター(同111.6%)、および電卓&電子手帳(同100.3%)の3品目で、他はマイナスとなった。

#### 2) 国内

国内出荷金額は、前年同期比95.8%とマイナスとなった。

品目別で見ると、複写機・複合機のフルカラー機(同105.9%)がプラスとなり、他はマイナスとなった。

## 3)海外

海外出荷金額は、前年同期比92.8%とプラスとなった。 品目別で見ると、ECR/POS(同110.7%)がプラスとなり、他はマイナスとなった。 出荷台数では、プラスとなったのは、複写機・複合機(同101.9%)、データプロジェクター (同112.5%)、電卓&電子辞書(同101.6%)、およびECR/POS(同103.9%)の4品目で、他はマイナスとなった。

なお、自主統計品目の出荷金額および台数は、別添の通りである。

以上

本件に関するお問い合わせ先: 社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 事務局担当 山本 道夫 (TEL 03-5472-1101、FAX 03-5472-2511)